

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校 学校番号 8

I 自己評価

1	学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） ・主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の鍛磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組む、地域社会の発展に貢献できる生徒	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） ・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識、技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） ・基本的生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組む、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒
3	評価する領域・分野	◇総合学科		
4	現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・コンクールや検定への積極的な取り組みがなされ、知識や技術の定着に役立っていると回答した生徒が90.6%と高い評価であった。 ・地域の方々と積極的な交流を図り、外部の声を取り入れ、教育の向上に努めていると回答した保護者が55.4%と全体の半数を上回り、昨年度より7%改善されたが、更に地域連携を強化し、外部の教育力を積極的に活用する必要がある。		
5	今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇各教科、専門教科の専門性を深化させることができるよう、ICT機器の活用をはじめとした授業実践に努め、生徒たちが自己肯定感を抱くことができるようにする。 ◇様々な活動を通して仲間と共に学ぶ良さを知り、コミュニケーション力・表現力をはじめ、課題設定力、問題解決力などの育成を図る。		
6	重点目標を達成するための校内における組織体制	・総合学科会議、科目「産業社会と人間」の担当者会議、各教科会議により、学科行事の推進やICT機器の活用について検討する。 ・担当者会議により「城北Co-Market」「散策マップ」をはじめ、地域をテーマにした取組を推進する。		
7	目標の達成に必要な具体的な取組		8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) ICT機器を用いた授業改善に取り組み、教科に関する専門性を深化させ、模擬試験や検定等への挑戦、展覧会へ出展させる。 (2) 地域に対する愛着を育むことができるよう、各種の取組を発展・充実させる。		(1) 模擬試験結果、検定の合格状況、各種の入賞の状況、授業評価アンケート (2) 城北Co-Marketへの来場者数、実施後アンケート結果、生徒の感想等		
9	取組状況・実践内容等		10 評価視点	11 評価
・manabaの研修会等による授業改善の実施 ・模擬試験や検定への挑戦、展覧会への出展 ・城北Co-Market、岩野田小学校との交流、散策マップの作成、岩野田中学校での絵本読み聞かせ、インターンシップ（芸）、SDGs研修会等の実施、ふれあい看護実習		①授業評価アンケート結果 ②模擬試験の結果、検定の合格状況等 ③アンケート（感想を含む）	A B C D A B C D A B C D	
12	成果・課題		総合評価	
○地域との連携事業（新商品開発・岩野小学校との交流・散策マップ作り・インターンシップ・高大連携）など、例年以上に取り組みを深めることが実現できた。 ○様々な場面（各教科での授業・学校行事・他の事業所との交流会など）で、生徒がプレゼンテーションする機会が増え、生徒の表現力、コミュニケーション力の向上等に繋げることができた。 ▲コロナ禍の影響もあってか、基本的生活習慣の乱れ(欠席者の増加)が目立ち、学習習慣の低下も目立つようになった。今後、どのように指導していくべきか、検討する機会をもちたい。		A B C D		
13	来年度に向けての改善方策案 学科の特質から「専門性を高める」ことと、「総合的に様々なことを学べる」ことの両方を実現できるような魅力作りを推進していく必要がある。他校の取り組みも参考にしながら、岐阜城北独自の魅力ある学科運営を、長期的な視野で考える機会を増やしたい。			

II 学校関係者評価

実施年月日：令和 年 月 日

【意見・要望・評価等】
・
・
・

